

【題材名】 学級活動「バランスの良い食生活」

- 【内 容】
- ①教師が紙芝居の読み聞かせをする。
  - ②教師がロイロノートを活用して、学校給食には主菜、副菜、牛乳などがあることを知らせる。
  - ③本日の給食の食材について、児童がロイロノートを活用して、赤、黄、緑のグループに分ける。
  - ④バランスよく食べることの大切さ（良さ）を確認する。

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

「赤、黄、緑のグループの食べ物を食べると？」という課題で、授業を始めた。まず、食生活が乱れた主人公が登場する紙芝居を聞かせ、児童に気付いたことを発表させた。そして、「では、毎日食べている自分のご飯はどうか？」と問うことで、自分事として考えさせた。

次に、児童が興味を持てるように、学校給食の写真をロイロノートのプレゼン機能で提示した。



その後、赤、黄、緑のグループの特徴を教え、ロイロノートに、本日の給食の食材写真を素材として貼り付けたものを児童に配付した。

「赤、黄、緑のグループの食べ物はどれかな？」と問い掛け、個人で分類作業をさせた。

最後に、バランスよく食べることの大切さ（良さ）を確認した。

【解 説】 全てICTを活用するのではなく、要所要所で活用するようにした。どの場面で活用するのが効果的なのかという視点で授業を組み立てた。ロイロノートを活用して個人作業をする時には、全員が真剣な表情で考えることができていた。

(教育委員会主幹講評) 1人1台端末が整備される以前の授業では、グループ学習で児童生徒に自分の考えを表現させるには、印刷した素材写真を児童生徒全員の素材写真を用意するなど授業準備が大変であった。この事例のようにロイロノートを活用すれば、食材写真の撮影から配付まで、全てロイロノートで行うことができ、一人一人が自分の考えを持ち学習に臨むことが可能で学習に対する意欲も高まります。また、一人一人の考えをロイロノートで共有すれば理解も深まり、より深い学びにつながります。ICT機器をより効果的に使って、教育効果を高める実践を共有しましょう。